

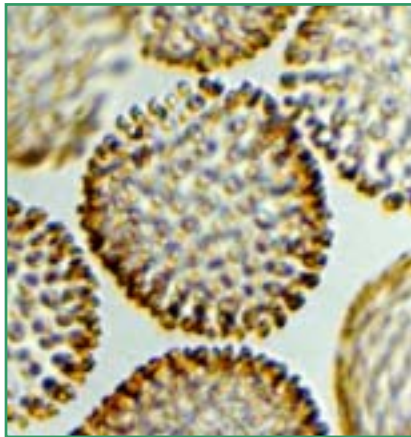
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第9報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年5月27日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

淡水赤潮の原因となるウログレナの細胞数は徐々に減少傾向を示していたが、5月24日(金)に増加して、8,400細胞/mlとなり、今回は減少した。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	120

第2優占種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Zoothamnium limneticum</i>	120

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年5月27日

第9報

## (2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2100		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	22		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	14		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	22		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	750		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	170		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	9		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	2130	64.0	19.3
(珪) 珪藻綱	809	24.3	10.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	6.0	4.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	189	5.7	65.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3328	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	2.82E+06
種 類 数	13		

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし\*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。